

保健医療データ処理論	3 年・後期	1 単位	教授 豊田 修一
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320493

1. 授業のねらい・概要

保健医療に関わるデータの統計的処理・分析方法や、医療の電子化の進行と共に増大している保健医療データの実践的利活用能力を教授する。

2. 学修の到達目標

1. 2 変数データの分析について理解できる。
2. 人口に関わる統計指標や統計情報について理解できる。
3. 表計算ソフトのデータ表現機能や統計処理機能について理解できる。
4. 健康状況や受療状況に関する統計調査について理解できる。
5. 統計処理ソフトの利用例を知る。

3. 授業の進め方

講義と P C 演習を組み合わせた講義であるが、学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画

1. ガイダンス	9. 生命表
2. 保健医療分野での統計データ	10. 健康状態に関する統計調査
3. 推測統計の概要	11. 受療状況に関する統計調査
4. クロス表と独立性の検定	12. 保健データと地域診断（P C 演習）
5. 相関係数・回帰分析	13. データのグラフ化（P C 演習）
6. 人口指標（年齢調整, SMR）	14. 相関・回帰（P C 演習）
7. 人口静態統計	15. まとめ
8. 人口動態統計	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）50%，提出物 50% で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：厚生労働統計協会「国民衛生の動向 2019/2020」

参考文献：1）高木廣文「ナースのための統計学」医学書院 978-4260007726.

2）「30 時間でマスター Windows10 対応 Excel 2016」実教出版 978-4407340211.

その他適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲の予習及び授業内容の復習で 30 分程度の学習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合は 8. に記入する）

この講義は、保健師に興味がある学生に焦点をあてた講義になっている。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

「看護の対象の理解」に区分される選択科目である。